

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	15	事業名 (実施計画名)	小学校ふれあいプラザ事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	小学校ふれあいプラザ事業		
担当部課	教育推進部青少年課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	改善・効率化し継続
理由	時代の趨勢の中で必要な事業であると考え、管理運営面等に課題があり、改善が必要である。
附帯意見	管理運営面については、子どもの目線から見た見直しの検討を求める。そのために、予算については、拡充していく必要がある。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額 (案)	(参考) 22年度予算額	(参考) 21年度決算額
	16,306 千円	13,812 千円	9,510 千円
議会評価に対する考え方	<p>管理運営面の見直しについては、安全な管理を図るとともに、より多くの児童が参加したいと思える事業内容にしていくため、基本的な安全管理員の配置人数を3人から4人に、1名増員します。</p> <p>小学校ふれあいプラザ運営協議会や各プラザ運営委員会とも必要な協議、情報交換等を継続的に行い、事業の充実をさらに図るとともに、学校関係者、保護者、地域の方などにプラザ事業の理解、認識をより深めていただくよう、プラザ事業の周知活動を展開していきます。</p>		
今後の事業展望	<p>新たに開設される汐見台小学校を含め、市内公立小学校全19校にプラザを開設します。</p> <p>安全な遊び場を開設するだけでなく、工作、本の読み聞かせ、伝承遊び、地域の歴史を伝えるなどの体験学習の場を提供するため、学習アドバイザーの配置を考えていきます。</p> <p>児童クラブの児童が、プラザに参加しやすい環境を整えるため、プラザと児童クラブとの具体的な連携方策を小学校ふれあいプラザ運営協議会等において、継続的に協議していきます。</p>		